

# コトバカっ!



コトバカ  
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカルっ!

## ウンっかないゾー

今年のエープリルフルは日曜だったせいとか、あまり盛り上がりたなかった。しかしそんな中、富士急ハイランドは休日らしいお遊び企画を打ち出していた。「史上最大のいたずら大作戦」と題してウンやいたずらを募集。当選者3組を4月1日に招待し、実現をサポートしたらしい。

募集告知に出ていた例は「レストランで頼んでもない料理が次々と出て来る」「園内放送で母さんから高飛車に呼び出される」「園内の看板になぜか自分の顔がWANTED」と出ている。「最恐戦慄迷宮で急に部屋に閉じ込められる」というもの。ちなみに最恐戦慄迷宮というのは世界最大級のお化け屋敷で、あまりの恐さに脱出口から途中リタイアする人も多いとか。いやもう、このアトラクション自体が壮大な悪夢のようで、それ以上のウンなんてお腹いっぱい、ノーサンキューって感じだ。

4月1日は、平日であれば異動の辞令が出る会社も多いだろう。子供のころ、父が母に「○○へ転勤になったよ」とウンついていたのを思い出す。○○には思いがけない遠い地名が入るのだが、母の気持ちを考えると全くもって笑えなかった。そういう意味では、昇進に関するウンはもっと微妙かも。「課長になったよ。うっそびよん」と言われてもね。

ウンの達人である友人に聞いてみたら「今年は適当なウンを思いつかなかったから何もなかった」と言う。彼女の場合、ウンがうますぎて誰にもばれないのが悩みようだ。「すぐにはれて笑ってもらえるウンじゃないとねえ」とため息をつく。達人ならではの悩みである。

壮大でありながらヒンシユクを買わず、誰も傷つけることなく爽やかに微笑んでもらえるウンなんて、難易度高すぎる。しかも「誰かがウンつくんじゃないか?」と皆が身構えている特別な日に。

やっぱりウンは、思いがけない状況でつのが楽しいのであり「堂々とウンついてもいい日」なんてそもそも白ける。でもまあ、今年も無事にその日は終わったわけで。ああ、やっと思いっきりウンつける!

相川藍 (言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。